

民法

1 過去5年の出題テーマ

	第1問	第2問
2025年度	(1) 第三者弁済 (2) 物上代位の対象（賃料が物上代位の対象か）抵当権の物上代位、「差押え」の趣旨（物上代位と債権譲渡）	(1) 他人物売買と相続 (2) 不当利得、解除に伴う原状回復 ※清算
2024年度	(1) 差押えと相殺（差押え前の原因） (2) 債権譲渡と相殺（債権の譲渡における相殺権）	(1) 使用者責任、過失相殺（被害者側の過失） (2) 逆求償の可否
2023年度	(1) 制限行為能力者を理由とする取消し、保証債務の範囲 (2) 詐欺を理由とする取消し、保証債務の範囲	(1) 他人物売買と相続 (2) 解除に伴う原状回復、他人物売主の責任解除 ※清算
2022年度	(1) 物権的請求権の相手方 (2) 付加一体物と従物の関係、分離物と第三者、「第三者」の範囲	契約不適合責任、原状回復と目的物の滅失 ※清算
2021年度	(1) 詐欺取消しに伴う原状回復と目的物の滅失 (2) 錯誤取消し、錯誤取消しに伴う原状回復と目的物の滅失	(1) 民法 177 条「第三者」の範囲、留置権 (2) 詐害行為取消権

2 出題形式及び傾向

出題形式

- ・大問2つの中に小問が2つある形式が基本
- ・比較的短文の事例問題で構成されていることが特徴

出題傾向

- ・総則 or 物権（担保物権）と債権総論からの出題が多い
- ・契約や親族相続がメインで問われることが少ない
- ・いわゆる論点というよりは条文の適用の精密さを求める出題が多い
- ・契約の清算（原状回復の対象が滅失しているような事案）に関する出題が多い

3 予想テーマ

(1) 出題傾向が続く場合の予想論点

- ・ 法定地上権
- ・ 集合動産譲渡担保
- ・ 特定、危険負担、受領遅滞が絡む問題
- ・ 原状回復と目的物の滅失

(2) 出題傾向が異なる場合

- ・ 賃貸人たる地位の移転と必要費の支出
- ・ 日常家事債務と代理